



#### <少年男女>

- ① 候補選手を招集して練習会（少年男女国体候補選手練習会）を2日間連続で実施する。
- ② 練習内容は、国体強化スタッフ（監督、コーチ、中・高体連強化担当者）で選定し、基本練習・ゲーム練習等を行う。
- ③ 選考基準は技能だけでなく、マナー・意欲・チーム大分への意識度等で総合的に判断する。
- ④ 練習会を経て、上記スタッフで候補選手を選考し、その推薦選手を強化委員会で審議し、常務理事会で承認を受け決定する。

#### (4) 補足

この要項に定めのない事項が発生した場合は常務理事会において審議を行い処理するものとする。

## 2. 大分県ソフトテニスインドア選手権大会

### (1) 選考競技会

本連盟が主催する当該年度の県選手権、総合選手権、外川杯、並びに前年度の大友杯

### (2) 選考基準

選手選考ペア数については、次のとおりとする。

但し、大会会場のコート面数により参加ペア数を変更することがある。

区分	男子	女子
一般	17ペア	8ペア
成年（35歳以上）	1ペア	1ペア
大学生※	2ペア	1ペア
高校生	2ペア	1ペア
中学生	2ペア	1ペア
計	24ペア	12ペア

※大学生とは本連盟主催の競技会に参加した学連登録選手に限る。

- ① 大学生、高校生及び中学生の選手選出ペア数が減少した場合は、その減少ペア数を一般及び成年の選手選出ペア数に振り分けるものとする。
- ② 連盟推薦ペアを選出することができる。（選考ペア数の内数とする）

### (3) 選考方法

- ① 競技会成績に基づき、ランキングポイント上位から順次選考を行うものとする。
- ② 同じランキングポイントのペアがある場合は、同じランキングのペアの中から常務理事会において選出する。  
また、同じランキングポイントで選考されなかったペアは、補欠として順位を決定し、選手選出ペア数に不参加や不足が発生した場合において、補欠順位の上位のペアから順次に参加資格を与えることができる。

#### (4) 補足

この要項に定めのない事項が発生した場合は常務理事会において審議を行い処理するものとする。

## 3. 九州地区中学校選抜ソフトテニス大会

### (1) 選考競技会

- ① 都道府県対抗全日本中学生ソフトテニス大会県代表選手選考会
- ② 九州地区中学校選抜ソフトテニス大会県予選

### (2) 選考方法

- ① 都道府県対抗全日本中学生ソフトテニス大会県代表選手選考会において男女各8名を九州地区中学校選抜チームとし選考する。
- ② 代表選手の選考は、選考会中の態度・取組姿勢・内容を基に技量・マナー・意欲等を勘案し総合的に判断して中学部の推薦を経て常務理事会で決定する。

- ③ 九州地区中学校選抜ソフトテニス大会県予選の優勝チーム。
- ④ ①の九州地区中学校選抜チームと③の優勝チームで順位決定戦を行う。
- ⑤ ①・③のチームを中学部強化スタッフの推薦を経て常務理事会で承認を受け決定する。

(3) 補足

この要項に定めのない事項が発生した場合は常務理事会において審議を行い処理するものとする。

#### 4. 大分県中学選抜インドア大会

(1) 選考競技会

- ① 前年度の大分県中学選抜インドア大会
- ② 各郡市で実施された中学校新人大会

(2) 選考基準

男子48ペア以内、女子48ペア以内  
但し、大会会場のコート面数により参加ペア数を変更することがある。

(3) 選考方法

- ① 前年度、大分県中学選抜インドア大会の優勝校に1ペアの出場権を与える。  
ただし、前年度優勝校が郡市代表と重複していても、当該郡市は出場できない。
- ② 各郡市の「大分県中学校総合体育大会」個人戦出場枠の1/2ペア数。

(4) 補足

この要項に定めのない事項が発生した場合は常務理事会において審議を行い処理するものとする。

#### 5. 競技者育成プログラム（Step3）への選考会（Step2）

(1) 選考競技会

- ① ハイスクールジャパンカップ県予選
- ② 県高校総体
- ③ 中学都道府県対抗大会
- ④ 中学シングルス選手権大会
- ⑤ 全国小学生大分県予選大会

(2) 選考基準

<U-20、U-17>

- ① 高校生は次の大会成績当該選手とする。
  - 1. 当該年度ハイスクールジャパンカップ大分県予選ダブルス ベスト8
  - 2. " シングルス ベスト4
  - 3. 当該年度年度大分県高校総体個人戦 ベスト8
- ② 中学3年生は、大分県中学シングルス選手権大会の3年生の部でベスト4に入った選手。

<U-14>

- ① 中学生は中学シングルス選手権大会の1年生の部・2年生の部でそれぞれベスト8に入った選手。
- ② 小学生は全日本小学生大分県予選大会のベスト4に入った選手。

(3) 選考方法

<U-20、U-17>

- ① 候補選手を招集して練習会を2日間連続で実施する。
- ② 練習内容は、国体強化スタッフ（監督、コーチ、中・高体連強化担当者）で選定し、基本練習・ゲーム練習等を行う。

※選考の際は、技能だけでなく、マナー・意欲・チーム大分への意識度等で総合的に判断する。

- ③ 練習会を経て、上記スタッフで候補選手（U-20男女各2名、U-17男女各4名）を選考し、その推薦選手を強化委員会で審議し、常務理事会で承認を受け決定する。

<U-14>

- ① 候補選手を招集して練習会を実施する。
- ② 練習内容は、中学部・小学部の強化スタッフで選定し、基本練習・ゲーム練習等を行う。  
※選考の際は、技能だけでなく、マナー・意欲・チーム大分への意識等で総合的に判断する。
- ③ 練習会を経て、上記スタッフで候補選手（男女各6名）を選考し常務理事会で承認を受け決定する。

(4) 補足

この要項に定めのない事項が発生した場合は常務理事会において審議を行い処理するものとする。

## 6. 全九州各県対抗シニアソフトテニス大会

(1) 選考競技会

- ① 全九州各県対抗シニアソフトテニス大会県予選大会
- ② 大分県シニア選手権大会
- ③ 山下杯争奪ソフトテニス大会
- ④ 大友杯争奪ソフトテニス大会

(2) 選考基準

年代種別毎に代表選手6名（代表選手の中より監督1名）

男子45歳の部、50歳の部、60歳の部、70歳の部

女子45歳の部、55歳の部、65歳の部

(3) 選考方法

- ① 全九州各県対抗シニアソフトテニス大会県予選大会において、各種別の優勝ペア（2人）を選出する。
- ② 残り4人は、前年度代表選手の大会成績及び選考競技会のベスト4の成績を収めたペア及び選手の中からシニア部会にて選出し常務理事会で承認を受け決定する。  
ただし、成績が同率の場合、九州選手権大会、西日本シニア選手権大会、全日本シニア選手権大会の成績を参考にして協議し選出する。
- ③ 選手選考後不足が発生した場合はシニア部会にて協議し常務理事会で承認を受け決定する。  
（予め補欠選手は決めておかない）

(4) 補足

この要項に定めのない事項が発生した場合は常務理事会において審議を行い処理するものとする。

## 7. その他の大会

- ① 全日本シングルス選手権大会・全日本選手権大会・九州シングルスソフトテニス選手権大会・九州インドア選手権大会の大分県代表選手の選考については各予選会のベスト4のペアの成績上位者から選考する。
- ② 上記以外の大会において、大分県の代表として参加する場合は、常務理事会で審議を行い処理するものとする。

### 附 則

（施行期日）

この要項は、平成30年3月11日から適用する。